

試 験 報 告 書

依 頼 者 東葛テクノ株式会社 ビクラス事業部

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体 bclas(ビクラス) 次亜塩素酸水

表 題 アレルゲン不活化試験

2018 年(平成 30 年)09 月 28 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

アレルギー不活化試験

1 依頼者

東葛テクノ株式会社 ビクラス事業部

2 検体

bclas(ビクラス) 次亜塩素酸水

3 試験概要

検体にアレルギー溶液を添加，混合し(以下「試験液」という。)，所定時間後に試験液中のアレルギー濃度をELISA法により測定した。また，あらかじめ予備試験(中和条件の確認)を行い，検体の影響を受けずにアレルギー濃度を測定できる条件を確認した。

4 試験結果

結果を表-1に，試験条件を表-2に示した。

なお，試験液をELISAキット付属の緩衝液で希釈することにより，検体の影響を受けずにアレルギー濃度の測定ができることを予備試験(表-2 中和条件を参照)により確認した。

表-1 試験液のアレルギー濃度測定結果

試験 アレルギー	対象	アレルギー濃度 (ng/mL)	
		開始時	15秒後
スギアレルギー	検体	—	<1.6
	対照(精製水)	200	200

<1.6 : 検出せず

保存温度 : 室温

表-2 試験条件

試験アレルゲン	スギアレルゲン：精製スギ花粉抗原Cryj1[株式会社 林原]
アレルゲン溶液	調製溶液：0.05%ポリソルベート20(Tween20)加りん酸緩衝生理食塩水 濃度：約25 $\mu\text{g}/\text{mL}$ (理論値)
試験液	検体1 mLにアレルゲン溶液10 μL を添加
保存条件	15秒(室温)
中和条件	ELISAキット付属の緩衝液で2倍希釈
対照	精製水
ELISA測定	レビス Cryj1 ELISA Kit[富士フイルムワコーシバヤギ株式会社]

以 上